

事業統合事例③ 淡路広域水道企業団	
事業規模等	給水人口 : 134,603 人 1日最大給水量: 58,584 m <sup>3</sup> /日 給水面積 : 358.13 km <sup>2</sup> 職員数 : 【直営】 70 人 【第三者委託】 3 人 【委託】 30 人
スキーム等	<pre> graph TD     A[淡路広域水道企業団] --- B[淡路広域水道企業団]     A --- C[淡路市]     A --- D[洲本市]     A --- E[南あわじ市] </pre>
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成元年 : 「淡路地域広域的整備計画」を策定</li> <li>○平成12年 : 水道合併研究会設置、検討協議を行う</li> <li>○平成15年10月 : 「水道事業の経営に関する確認書」の中で、統合の目途を平成22年度とすることを確認</li> <li>○平成22年4月 : 島内水道一元化</li> </ul>
広域連携(事業統合)のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員削減の状況下における技術力の維持、包括委託及び複数年契約による民間のノウハウの蓄積に伴う経営の効率化</li> <li>・ 職員削減、コスト削減</li> </ul>
広域連携(事業統合)のデメリット	—
業務手法(公民連携等)	公営が基本 + ③ 業務委託(包括・性能発注) 営業関係業務の包括委託 ④ 第三者委託(包括・性能発注) 浄水場運転管理等業務委託
対象業務(維持管理体制)	<pre> graph TD     A[経営・計画、管理(総務・人事・財務)] --- B[営業]     A --- C[維持管理(運転・保全)]     A --- D[更新等(設計・建設等)]     B --- B1[窓口]     B --- B2[検針・料金徴収等]     C --- C1[施設]     C --- C2[管路]     D --- D1[施設]     D --- D2[管路] </pre>
浄水施設維持管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浄水場運転管理等業務委託</li> </ul>